



ぱっ!えりあ

ひがしまつやま市総合福祉エリア 平成22年4月20日発行 第34号



新年度を迎えて



皆様こんにちは。日頃は総合福祉エリアの利用に際しまして、ご理解とご協力を頂いております事に、深く感謝申し上げます。

昨年度は、通所リハビリテーション事業での返還金問題が発生するなどして、ご利用者やご家族の皆様を始め大勢の方々に、大変ご心配やご迷惑をおかけいたしました。ここに改めて、心からお詫びを申し上げます。

さて、総合福祉エリアも開設して間もなく10年目を迎えますが、この間駆け足で過ごしてきた感じがいたします。ここで一旦立ち止まり、初心に帰り、今までの出来事の一つひとつしっかり振り返り、ご利用者の立場に立って、サービス提供のあり方を見直してまいります。

ご利用者の皆様は、おそらく心の中で少しでも職員に話を聞いてほしい、又かかわってほしいと願っておいでなのではないかと思えます。その思いに対し、職員が日々の業務に追われ、なかなか応えることが出来なかったことでもありますが、今年度は少しでも皆様の思いがくみ取れるよう、努力してまいりたいと思っております。

福祉エリアに入所出来て良かった、福祉エリアに来るのがとても楽しみだ、と皆様から言ってもらえるような施設経営を目指してまいりますので、率直なご意見を是非お寄せください。

総合福祉エリア所長 森田康司

【平成22年度総合福祉エリア事業方針】

1. 業務管理体制の確立
法令遵守が、全ての事業の前提であることを体制として整備します。
2. 魅力ある事業経営
今までのサービス提供内容を点検し、ご利用者にとっても職員にとっても、魅力あるサービス提供が感じ取れる職場環境を実現し、安定した事業経営を目指します。
3. 利用者主体のサービス提供
10周年を機会にもう一度福祉エリアの基本理念に立ち返り、ご利用者に安心と信頼を感じていただけるサービス提供をします。



＊ ＊ 事業紹介 (ケアサポートいわはな) ＊ ＊



ケア・サポートいわはなでは、障害をお持ちの方やそのご家族の生活に必要な介護サービスの提供を行なっています。

～サービス内容～

- ・介護スタッフと一緒に日中センターで過ごすことや、宿泊することができます。
- ・ご自宅に介護スタッフを派遣いたします。
- ・外出の付添をおこないます。
- ・目的地までの送迎をおこないます。
- ・センターの部屋を、介護するために団体へ時間単位でお貸しします。

このサービスは、東松山市内在住の障害をお持ちの方(年齢、障害種別を問いません)がご利用いただくことができ、事前の登録が必要となります。

また、昨年度より、地域での課題となっている障害をお持ちの学齢期児童の長期休暇中(夏休みなど)の日中の居場所や、放課後の支援について、市・自立支援協議会と協働して、取り組みを行なっています。

＊ ＊ ケアサポートいわはなの取り組み ＊ ＊



ウィンターイベントの様子

ケアサポートいわはなでは、平成21年度目標のひとつに“自立支援協議会と協働し、地域課題解決へ向けた取り組みを行う”という項目を掲げてきました。その中で、障害をお持ちの子どもたちの放課後及び長期休み期間の居場所について検討し、具体的な取り組みを実施してきました。

長期休み中のイベントを、夏3回・冬1回・春1回開催し、延べ300名を超える地域の方、学生、関係機関等から協力をいただき無事実施することが出来ました(参加児童数延べ148名)。参加児童の感想の中には、言葉ではうまく表現できないが表情から楽しい様子が伺えました。また、家族に参加チラシを渡し、本人なりに参加を表現していたなどうれしい知らせもありました。

また2月から3月にかけて、毎週金曜・市の川小学校児童5名を対象に放課後の居場所について試行的な取り組みを行いました。学校へのお迎えから始まり、総合福祉エリア近隣の公園等を中心に地域の方、きらめき市民大学ボランティアサークル、地域の大学生といっしょに過ごしました。

それぞれの取り組みを通して、ご協力いただいた皆様には、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

いわはなでは、今まで選択肢の少なかった障害のある学齢期の子どもたちの過ごし方の広がりや、地域の多くの人との関わりが増えるよう今後も支援していきたいと思っています。

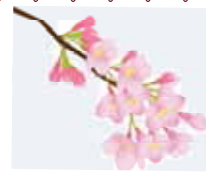
今後とも、ご協力お願いいたします。



放課後支援の様子



** お花見イベントを行ないました** (ケア・サービスセンター)



平成22年4月4日(土)に、入所・通所サービス合同のお花見イベントを行ないました。

当日は、桜は満開間近な見頃を迎えていましたが、あいにく冬に戻ったような寒空だったため、中庭ではなく、3階デイルームで、イベントを開催しました。

満開の桜の下で・・・という願いは叶いませんでしたが、その分、ご利用者やボランティアの方々の満開の笑顔により、明るく楽しいひと時となりました。



ボランティアの「東平琴の会」の皆様が、大正琴の演奏を披露してくださいました。桜色の明るい衣装と、優しい琴の音色に、会場が春らしいとても明るい雰囲気となりました。

演目は、「さくら・さくら」「荒城の月」など、全8曲。最後は、エリア恒例の「北国の春」を演奏してくださいさり、ご利用者の方々も、一緒に歌と体操を行ない、大いに盛り上がりました。

4月1日から入職した職員も参加し、ご利用者の皆様にご挨拶をしました。大勢のご利用者を前にして、緊張感みでしたが、ご利用者の温かい声かけに、すぐに表情がほころんでいました。



桜の花言葉は「こころの美しさ」です。この言葉のように、職員一人ひとりが、常に温かい心を持ち、ご利用者の皆様にご満足いただけるような環境づくりを目指していきたいと思っています。



お昼には、春らしく桜を入れた「お花見メニュー」というテーマで、お花見弁当(桜寿司・かきたま汁・カレイの木の芽焼・筍とふきの煮物・フルーツ・漬物)を提供させて頂きました。

「おいしかった」「色がきれい」などの声も聞かれ、多くの方が完食してくださいました。また、おやつの手作り芋羊羹・昆布茶も「おかわりが欲しい」との声があがるほど好評でした。



皆様に喜んで頂けて、職員もうれしい気持ちになりました。次回もお楽しみに！



10年目を迎えたエリアの桜



- 桜寿司・かきたま汁
- カレイの木の芽焼
- 筍とふきの煮物
- フルーツ・漬物
- 手づくり芋羊羹

ボランティア紹介

《東松山婦人会様》

平成14年から大正琴とコーラス、その後民謡とカラオケのグループが加わり、毎月第2木曜日に活動されています。どのグループもご利用者と一緒に楽しむことをモットーに、懐かしいなじみのある歌を選曲されています。演奏をバックに皆と大きな声で歌い、心が晴々となり元気が出る有意義なひと時を提供下さっています。エリアで毎年恒例のお花見レクリエーションでは大正琴とコーラス、納涼祭では民謡の皆様がご協力下さり、ご利用者にたいへん喜ばれています。



キッチン(料理)で脳を活性化!

認知症を引き起こす原因疾患の中で最も多いのがアルツハイマー病。その発生に至る前に低下するといわれる**3つの機能**を鍛える場がキッチン(料理)の中にあります。

1 「出来事を記録して思い出す機能」

前日食べたものを記録する。作ったことのある料理のレシピを思い出して書く。

2 「2つ以上の作業を同時に行う時適切に注意を配る機能」

何品かを同時に作る。意識して、てきぱきと片付ける。

3 「新しいことをする時段取りを考えて実行する機能」

効率の良い買い物の手順や道順を考える。新しい料理を考える。

管理栄養士 瀬戸 栄子



簡単料理教室のひとつコマです。

お知らせ~新しい職員が増えました!~

やわらかな日差しが心地よい季節になってまいりました。みなさまいかがお過ごしですか? 4月になり、総合福祉エリアにも新しい職員が増えました。入所係に3名、通所係に3名、車両運転手に3名、訪問介護係に1名です。「早く仕事に慣れるようにしたい」「ご利用者のみなさんと仲良くなりたい」など緊張しながらも抱負を語ってくれました。新しい職員10名を加え、全体では180名を超える職員数となりました。新年度も職員一丸となり、よりよいサービスを提供できるようにがんばっていききたいと思います。



編集後記

みなさん、新年に立てた目標は継続できていますか? 私はダイエット(健康的な体)を目標にしましたが、日々の生活のなかに、目標への気持ちが埋没しているような状態です。

4月になりました。もう一度、自分自身の目標を見直し、充実した日々を過ごしていきたいと思っています。(田中)

(お問合せ)



〒355-0005 東松山市大字松山2183番地
TEL 0493-21-5556 FAX 0493-25-3305

ホームページ(URL) <http://www.area.or.jp>
Eメールアドレス fukushi@area.or.jp